



ねつ あせ ねつ さ  
熱がでたあと、汗をかいたらなぜ熱が下がるの

ねつ  
かぜをひくと熱がでる

ふつう、人間は36.5度C～37度Cの体温を保っていますが、かぜをひくと37度Cを越える熱がでることがあります。かぜは、ウイルスが、鼻のねんまくなどから入っておこるのがほとんどです。

ウイルスが入ってくると、白血球などがたたかい、また、そのしげきで大脳の体温調節センターがしげされて、熱をだすしくみがはたらきます。

あせ ねつ きゅう さ  
汗をかくと熱は急に下がる

体温を上げる原因がなくなると、大脳の体温調節センターがはたらいて、熱を下げる命令を出します。

すると、皮ふの血管が開いて顔が少し赤らみ、皮ふの下の汗腺がはたらいて、汗を出しはじめます。

そして、この汗が皮ふの表面からじょうはつすると、熱が体の外へにげてゆき、体温が下がってくるのです。(監修 保志 宏)

